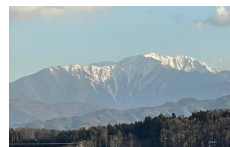


ああ 遠くの空は 晴れている



NO3

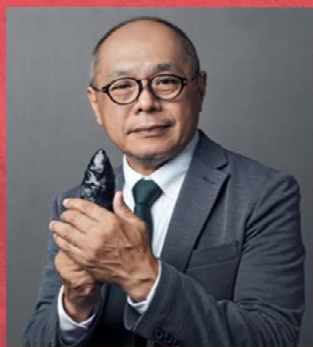
南箕輪村教育委員会

2月15日（日）、令和7年度南箕輪村文化講演会が、13:30～村民センターで開催されます。

講師は、神子柴遺跡など旧石器時代研究の第一人者の明治大学の堤 隆先生です。カラーコンテンツとも言われる神子柴遺跡の日本一美しい石器と遺跡の謎、マジカルな縄文土器として、長野県宝に指定されている久保上ノ平遺跡から出土した「人体文付有孔鏢付土器」と「浅鉢形土器」から見える縄文の謎について、興味深い話をお聴きできる絶好の機会です。郷土の歴史を知る機会でもあります。親子で参加してみませんか。

令和7年度 南箕輪村文化講演会

手話通訳が
つきます



つつみ たかし

講師 **堤 隆** 先生

明治大学研究・知略戦略機構
黒耀石研究センター特任教授
日本旧石器学会会長、長野県考古学会副会長

「神子柴と久保上ノ平:南箕輪村の 遺跡から見える縄文の謎」

令和8年

2月15日（日）

開場:13:30 開演:14:00

会場:南箕輪村民センターホール

※事前申し込み不要

お問い合わせ 南箕輪村教育委員会社会教育係 ☎0265-76-7007



日本一美しい石器を持つ神子柴遺跡は縄文時代を語る上で絶対に外せない。また、極めて珍しい人体文付の有孔鏢付土器が出土した久保上ノ平遺跡は長野県の縄文黄金期の一翼を担う。どちらの遺跡も、縄文の魅力と謎に満ちている。

明治大学研究・知略戦略機構
黒耀石研究センター
藤森 英二 先生

